

大迫中学校改築事業が完了しました

平成26年度から事業に着手した大迫中学校の改築事業は、平成29年7月に校舎棟、平成30年7月に屋内運動場棟が完成し、その後、クラブハウス、自転車置場棟のほか敷地内の舗装や屋外照明の設置等を進めてきました。今年度は、国の補助金採択を受けてグラウンド整備を進めてまいりましたが、本年1月28日に当該工事が完成し、これをもって大迫中学校改築事業の全ての工事が完了となりました。

1. 改築の経緯

大迫中学校の全面改築につきましては、旧校舎棟が築48年を経過し、老朽化が著しい状態にあったことに加え、旧校地東側の崖地が、岩手県の土砂災害特別警戒区域に指定されたことから、子供たちの安全を確保するため、警戒区域外へ校舎棟を移転新築するとともに、耐震化がなされていない体育館も改築しました。

2. 改築の事業費

○全体事業費 18億3,678万6千円

〔財源内訳〕国交付金 1億7,359万円
起 債 14億8,530万円
一般財源 1億7,789万6千円

〈主な整備内訳〉

- ・校舎棟改築工事：8億1,392万円（平成29年7月完了）
構造：鉄筋コンクリート造り一部木造2階建
規模：延べ床面積2,601.34㎡
- ・屋内運動場棟改築工事：4億6,011万2千円（平成30年7月完了）
構造：鉄骨造り1階建
規模：延べ床面積1,369.03㎡
- ・クラブハウス棟建築工事：5,794万円（平成31年3月完了）
構造：鉄筋コンクリート造り平屋建
規模：延べ床面積120.70㎡
- ・グラウンド、暗渠排水、側溝整備等：6,112万円（令和3年1月完了）
グラウンド面積：8,200㎡



R3年1月に完成したグラウンド